

ECALGA

ECALGAによる環境情報電子交換の 標準化と実用化状況

JEITA
EC CENTER

— 目 次 —

- 環境情報交換標準化の経緯
- 環境情報交換標準化の考え方
- JEITA環境辞書の構造
- 環境情報交換モデルの現状
 - 1)環境情報交換モデル
 - 2)納入仕様書交換モデル
 - 3)環境情報PDF交換モデル
 - 4)環境情報公開モデル(利用パターン1)
 - 5)環境情報公開モデル(利用パターン2)
 - 6)環境情報Webモデル

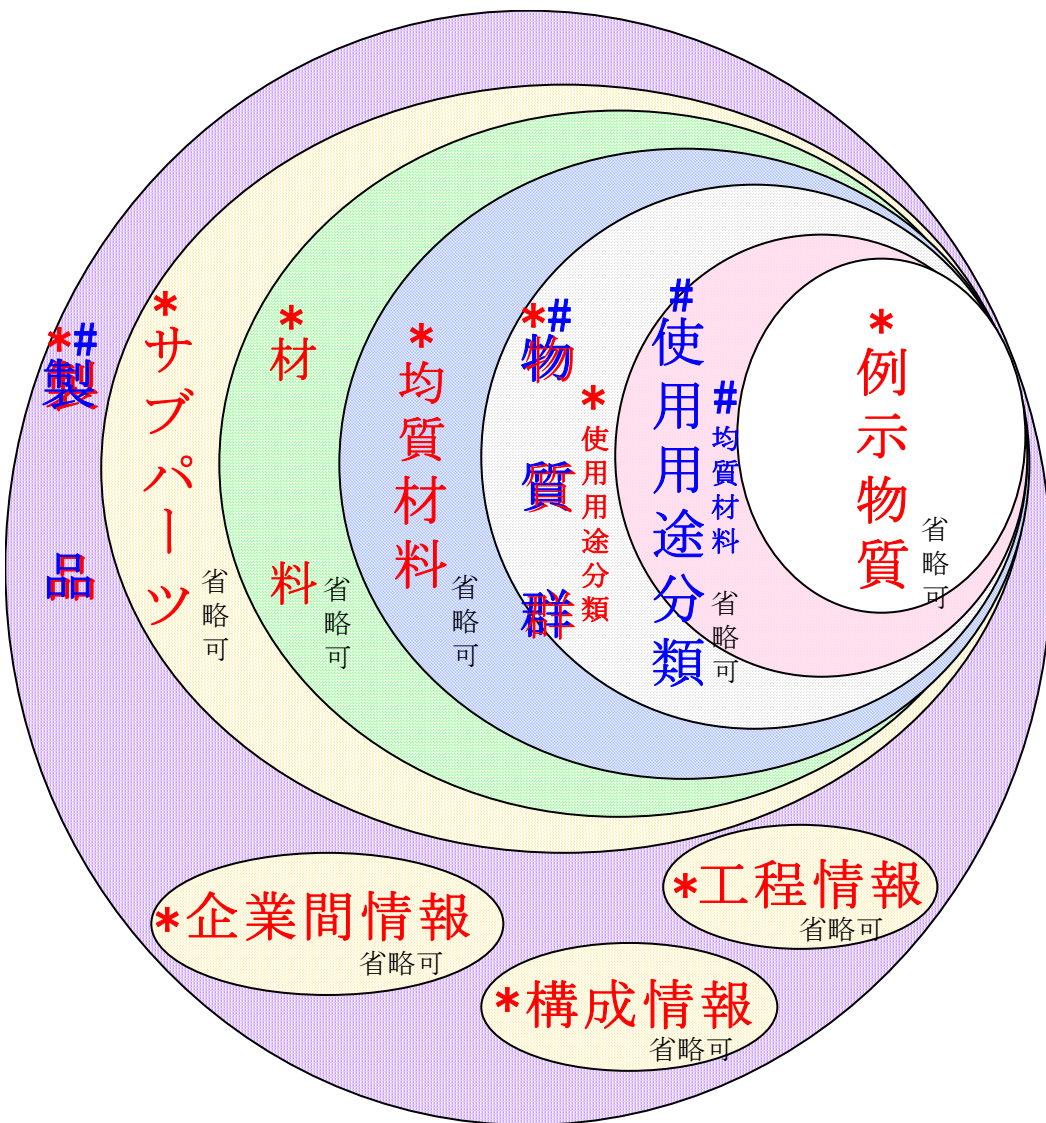
環境情報交換標準化の経緯

交換モデル	2004	2005	2006	2007
環境情報交換モデル	5月 JGPSSI 基本に検討	10月 JGPSSI プラスαの検討	4月 環境辞書連携の検討 8月 Ver2004-R02追補版公開 12月 Ver2006-R01公開	3月 Ver2007-R01 公開予定
納入仕様書交換モデル		4月 環境情報添付検討	12月 Ver2006-R01公開	
環境情報公開モデル		6月 環境辞書及び JEITA-Greenの 一次検討	4月 環境辞書及び JEITA-Greenの 二次検討 3月 一次公開	3月 二次公開予定
環境情報PDF交換モデル			6月 PDFフォーマットの検討 12月 開発完了予定	公開予定
環境情報Webモデル			6月 項目比較検討 極力環境辞書項目を使用することとした。	JEAIT-Greenの 検討予定
交換インフラ	ebXML		インターネット及びWeb	

環境情報交換標準化の考え方

- 1) 川上—川下間で流通する標準とした。素材、部品、モジュール、最終製品
- 2) 業界、業際で「必要」であろう項目を「標準」とした。
- 3) 業界、業際で「共通」であろう項目は「必須」とした。
- 4) 大手～中堅・中小企業を対象とするため、五つの情報交換モデルを標準とした。全ての交換モデルは環境辞書に対応している。
- 5) 製品構成の複雑さによって、「物質から構成」又は「構成から物質」の二面より取り扱える標準とした。
- 6) 多種多様な要求に可能な限り応え得る標準とした。
回答企業は追加調査等の防止のため、出来る限り当標準に添ったデータを準備して頂くことをお勧めします。

JEITA環境辞書の構造



製品	受注者の受注品番。
企業間情報	企業間で情報交換する場合双方の管理情報。(窓口となる担当者等)
構成情報	半製品を構成する名称。
工程情報	製造工程内で消費する物質情報。
サブパーツ	製品構成の最終段階に属している組立て材とする。
材料	均質材料を構成する材質。
均質材料	それ以上分離出来ない均質な部分をいう。(Homogeneous) 閾値判定の分母となる。
物質群	「カドミウム及びその化合物」等の表現で化学物質をグループとして表現する名称
使用用途分類	物質の使用用途を分類したもので、閾値内で意図しない添加物等を分類し除外物質を判別するもの。
例示物質	過去の実績でグリーン調達調査共通化協議会またはECセンター参加企業が調査していた化学物質や法規制で禁止や規制を受けている化学物質を例として示した名称

注) 省略は提供企業が活用企業の意向を参考にして決める。

赤字(*)の項目は構成から物質、青字(#)の項目は物質から構成を表す。

環境情報交換モデルの現状

環境情報交換モデル

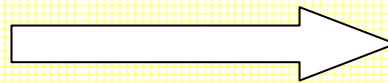
発注者

ebXML

環境情報と追加情報

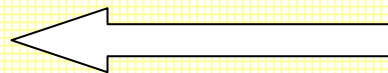
受注者

提供依頼



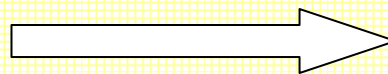
確認

確認



提供

受領返却



確認

自社又はASPのebXMLサーバを使用する企業が単独で環境情報を交換する場合に使用する。

環境情報の内容は環境辞書に対応している

納入仕様書交換モデル

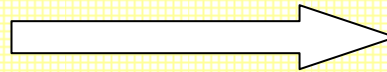
発注者

ebXML

受注者

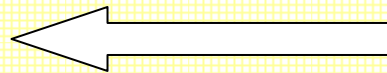
環境情報を納入仕様書の
付帯情報として
JGPSSIファイル添付

提供依頼



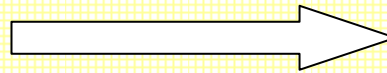
確認

確認



提供

受領返却



確認

納入仕様書交換企業で仕様書と合わせて、環境情報を確定する場合に使用する。

JGPSSIファイルを環境辞書に取り込んでいる

環境情報PDF交換モデル

発注者

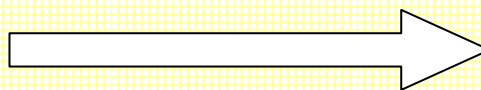
インターネット
メール

受注者

環境情報
PDFファイル

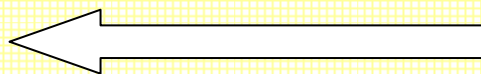
提供依頼

データロック



確認

確認

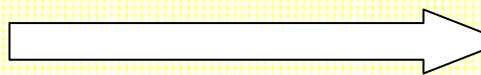


提供

データロック及び電子署名

受領返却

電子署名

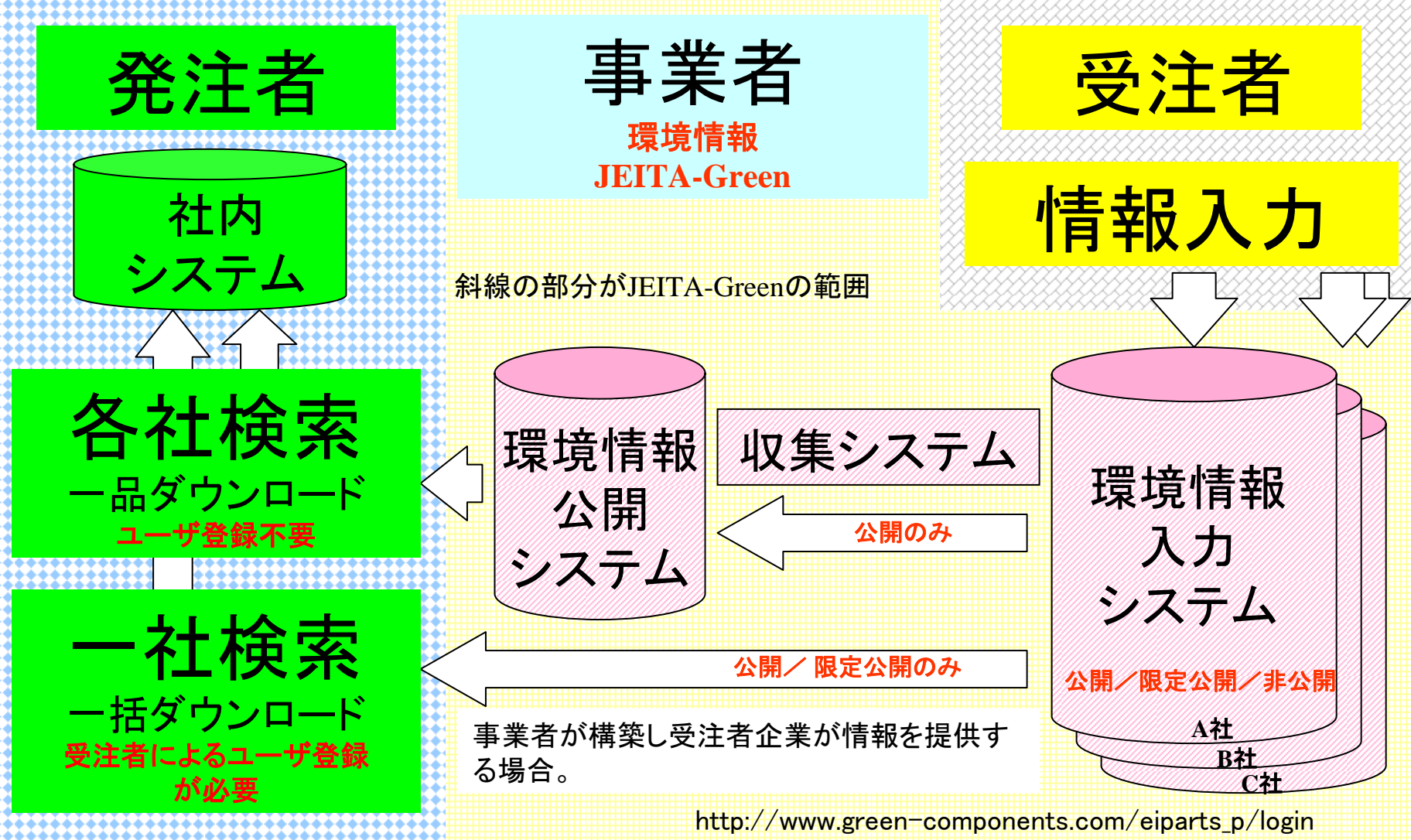


確認

自社又はASPのebXMLサーバを使用する事が困難な企業が単独で環境情報を交換する場合に使用する。

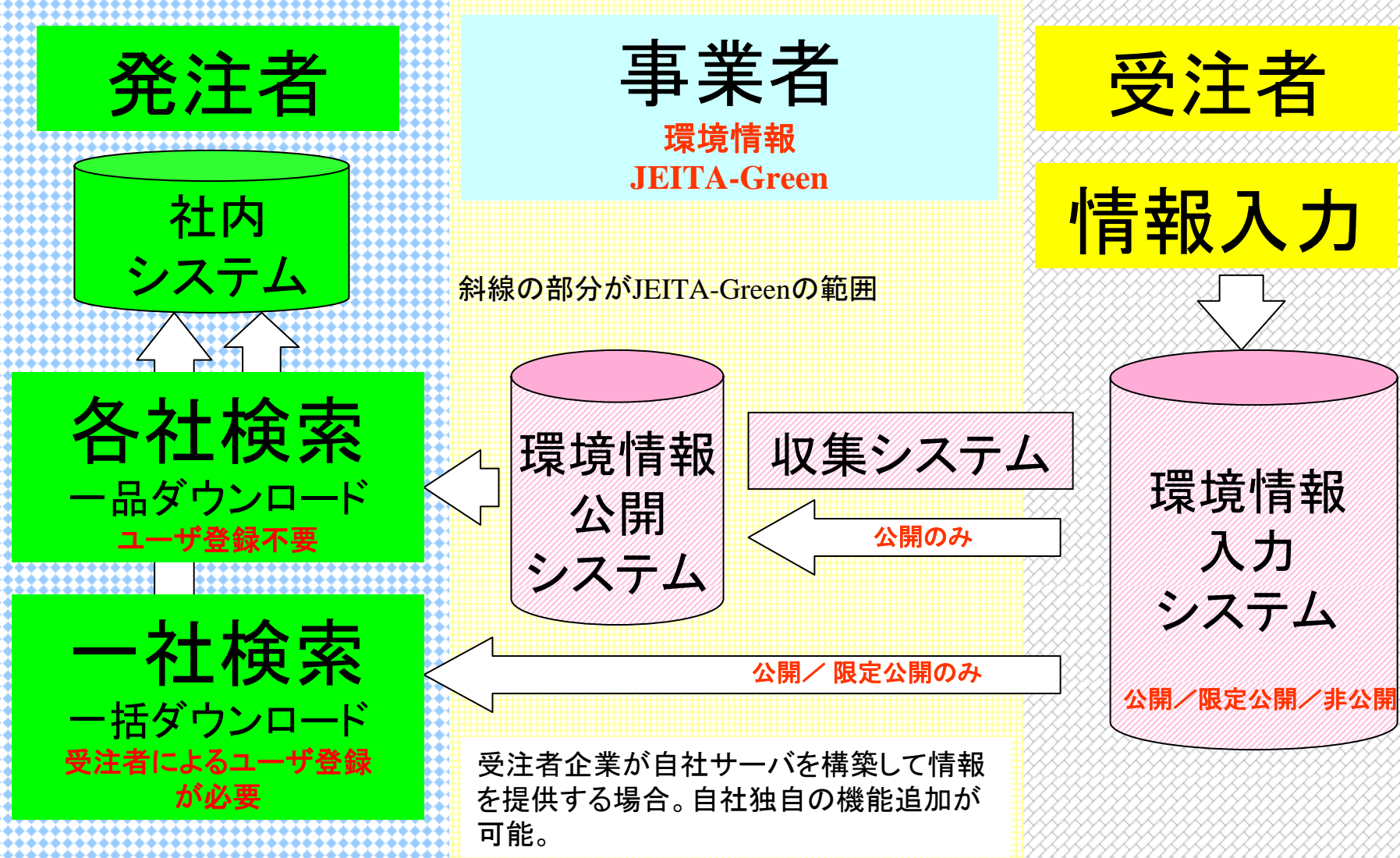
PDFファイルは環境辞書に対応している

環境情報公開モデル(利用パターン1)



JEITA-Greenは環境辞書に対応している

環境情報公開モデル(利用パターン2)



JEITA-Greenは環境辞書に対応している

環境情報Webモデル

発注者

事業者

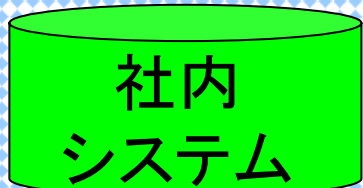
受注者

環境情報
JEITA-Green

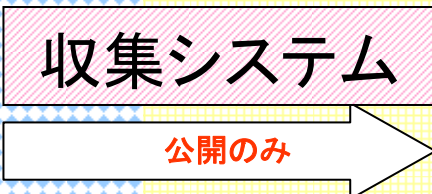
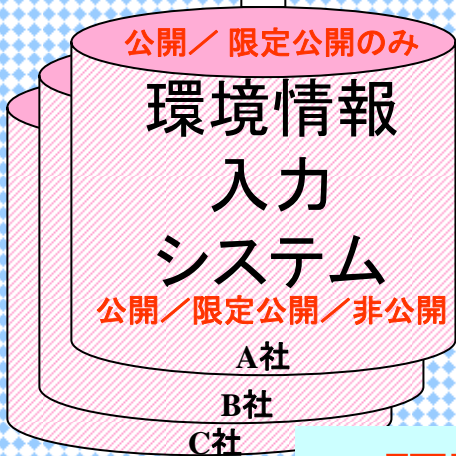
- ・既に独自で導入されている企業は環境辞書項目に合わせる。又は環境辞書項目である事を明示して頂くとする。
- ・これから導入を検討される企業はJEITA-Greenの導入を推奨する。

斜線の部分がJEITA-Greenの範囲

発注者企業が構築し受注者企業が共同利用(パターン1)及び自社で構築(パターン2)する、ことが困難な中小、中堅企業が情報を提供する場合。



各社検索
一括ダウンロード



情報入力

JEITA-Greenは環境辞書に対応している

ご清聴有難うございました。